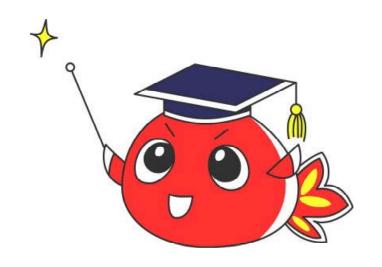
第5回(平成22年) 「大和郡山·金魚検定」

解説

<分 野… 金魚 >

<難易度… 初級 >



大和郡山·金魚検定認定委員会

【正答】② 三才図会

【解 説】

説】
地球上におよそ 22,000 種の魚が現存するが、金魚の開き尾に相当する尾鰭をもつものは見られない。開き尾は背鰭欠如性と共に金魚の形態的特徴を代表する重要な形質といえる。開き尾をもつ金魚がいつの時代に出現したのかは明確でないが、『杭州府志』や『硃砂魚譜』に開き尾の記述があり、『三さりとのようないずえに図が見られる。『三才図会』は類書であって現在の百科事典に相当する。選択肢にあげた『金魚問答』、『金魚秘訣録』はいずれも日本の文書である。

【文献】

- 1) 明 王圻編, 明 王思義続編:三才圖會. 巻之鳥獣五, 萬歴三十五年 (1607).
- 2) 松井佳一: ヒブナとテツギョ 金魚との関係. 淡水魚, 2, pp.41-44 (1976).
- 3) 松井佳一:金魚大鑑. 緑書房, 東京, 1972, pp.2-3.

問題2

【正 答】 ① トサキン アズマニシキ

【解説】

図Aはトサキンである。本品種を特徴づける尾鰭の形状を、背面平面図として頭に描くことができれば正答できる。図Bはアズマニシキである。シルエットにすると類似の数品種が浮かぶ。この点を考慮して選択肢にあげる品種を限定した。



³図A:トサキン



図B: アズマニシキ

【正 答】 ③ ヤマガタキンギョ ・ フリソデキンギョ

【解 説】

西洋では尾の長大なものが好まれ、リュウキン型で同様に長い鮒尾を有するものにニンフ(Nymph)があり、これはわが国でいう玉サバに相当する。

【文献】

- 1) 松井佳一:金魚大鑑. 緑書房, 東京, 1972, pp.23.
- 2) 松井佳一:金魚 カラーブックス 34. 保育社, 東京, 1963, pp.11-14. インターネット検索キーワード: 「庄内金魚」、「山形金魚」

問題4

【正 答】 ③ エドニシキ 秋山吉五郎

【解 説】

エドニシキ(江戸錦)はランチュウとアズマニシキを交配して作出されたもので、写真に見られるようにランチュウの体形とアズマニシキの体色を備える。作出者は2代目秋山吉五郎で命名も同氏による。

【文献】

- 1) 松井佳一:金魚大鑑. 緑書房, 東京, 1972, pp.27-28.
- 2) 堀口篤次、伊藤義廣:金魚養殖の発達と回顧. pp.8.

問題5

【正 答】 ① 体形はデメキンと同じ。 尾鰭は蝶が羽を広げたような形をしている。

【解 説】



【正 答】 ② 8 6

【解 説】

無の鰭には背鰭、臀鰭、尾鰭などの無対鰭(1枚)と、胸鰭、腹鰭のような対鰭(2枚)がある。鮒尾のワキンはこれらの鰭をすべて有し、鰭の数は合計7数となるが、リュウキンやジキンなど臀鰭が2枚なければならない品種では、尾鰭の総数が8枚となる。ランチュウは背鰭を欠き、臀鰭が無対鰭のものでは鰭の合計が6枚となる。

問題7

【正 答】 ① 粘着物質

【解 説】

マダイやヒラメなどの卵は分離浮性卵と呼ばれ、卵は水中で個々に浮遊する。これに対して、鯉や金魚などの卵は沈性粘着卵と呼ばれ、卵表の粘着物で他物に付着し、付着できなかった卵は水底に沈む。アユの卵は膜状の外卵膜で他物に付着し、メダカの卵は卵表にある付属糸で他物にからみつく。なお、吸盤で付着するような魚卵は存在しない。

【文献】

- 1) 隆島史夫,村田衛:水産増養殖システム2 淡水魚.恒星社厚生閣, 東京,2005,pp.162.
- 2) 山本時男:キンギョ及ワカサギの卵の受精並に付活に伴う表層変化. 魚類学会誌, 3(3-4), 162-170(1954).
- 3) 岩井 保: 魚学概論. 恒星社厚生閣, 東京, 1971, pp.151-152.

問題8

【正 答】 ② 3~4

【解 説】

発生に伴う器官の形成速度は、飼育条件によって異なり、また個体間で変異する。デメキンの眼の突出も飼育条件で遅速し個体間でもばらつきを示すが、 かって、 がんでは、 かけっころ かがっていかん かけっころ かがってる。

【文献】

張詞祖, 張 賦:中国金魚鑑賞. 上海科学技術出版, 上海, 2003, pp.67.

【正 答】 ② 8

【解 説】

無は変温動物で、その体温は生活水温によって変わり、摂餌活動や摂食物の消化吸収なども水温の影響を強く受ける。 $20\sim25$ の水温は金魚の適温で摂餌活動も活発化する。金魚は広温性で低温下でも摂餌を行うが、8 の以下にもなるとほとんど餌を摂らなくなる。冬場や1日の内でも水温が極度に下がる時間帯では金魚の行動は鈍り、餌の食いも落ちる。

【文献】

- 1) 平田八郎:金魚の索餌日周期と水温変曲点. 日本水産学会誌, 26(8), pp.783-791(1960).
- 2)岩井保:生理と生態.「金魚大鑑」(松井佳一編),緑書房,東京, 1972,pp.16-17.

問題10

【正 答】 ① 0.5

【解 説】

金魚を23℃の水温下で3.0%および2.0%の食塩水に入れておくと、それぞれおよそ1時間後、5時間後に死亡する。食塩の濃度を1.0%にすると数しまかんた。 はほう しない。輸送後の傷の消毒、細菌の感染防止などの目的で食塩水を用いるときは、0.5%の食塩水中で10日前後継続飼育する。初期の立鱗病の治療などには塩濃度を2.0%とし、1日30分間の塩水浴を数日繰り返す。

【文献】

- 1) 松田尚一: 低濃度塩水浴による淡水魚の外傷治療法 1 有効塩分濃度 について—. 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要, 1, pp.1-3(1983).
- 2) 松田尚一:低濃度塩水浴による淡水魚の外傷治療法2一温度の影響について一. 滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要, 1, pp.4-7(1983).
- 3) 吉田謹三:魚病の診断と治療〈錦鯉・金魚〉. 文永堂出版, 東京, 1982, pp.165.

問題 1 1

【正 答】 ④ 松井佳一

【解 説】

第5回『大和郡山・金魚検定』【金魚】【初級】 解説

遺伝に関する研究、品種の分化・系統に関する研究、金魚に関わる文芸・工芸品の調査・収集など、その対象は多岐にわたっている。これらの研究・調査の成果は多くの著書にまとめられているが、学術色の強いものとして『科学と趣味から見た金魚の研究』、『実験金魚の愛玩と飼育法』が、また一般向けのものとして『カラーブックス34 金魚』、『金魚と錦鯉鑑賞と飼い方』などがあげられる。

問題 1 2

【正 答】 ②

【解説】

色とりどりの花を穂状につけたキンが花を地状につけたキンが花を地状につけたキンが花を加水がない。 ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではない ではいる。 (写真 をいってはいる) ではいる。 (写真 ではいる) ではいる。 ではいる。 (ではいる) ではいる) ではいる。



【文献】

- 1) 野間省一:講談社園芸大百科事典 3. 講談社, 東京, pp.98-101(1980).
- 2) 湯浅浩史: 花おりおり 2. 朝日新聞社, 東京, pp.162(2003).
- 3) 金田初代, 金田洋一郎: 花の辞典. 西東社, 東京, pp.81 (2010).
- 4) さとうち藍: 園芸図鑑. 福音館書店. 東京, pp.308(1996).

問題 13

【正 答】 ③ 60

【解 説】

市販されている鑑賞用の60 cm水槽のサイズは、 $60 \text{ cm} \times 30 \text{ cm} \times 36 \text{ cm}$ で、水が600入る。

【文献】

吉田信行:金魚春秋. 金魚の吉田㈱ヨシダ, pp.164(2009).

問題 1 4

【正 答】 ① エアーストーン

【解説】

水槽の中の水に酸素を溶け込ませるため空気をエアーポンプによってエアーチューブに送り込み、その先端にあるエアーストーンを用いて細かい気泡にして水中に放出する。

問題15

【正答】 ① 三重大学

【解 説】

【資料】

作年12月9日付け読売新聞、12月28日付け共同通信社などが報道・ 配信。

問題 16

【正 答】 ③ 蘭鋳

【解 説】

説】

†鰭がなく体形が丸いということで、古くは「マルコ」と呼ばれたり、「卵虫」と書かれていたりしたが、現在では一般に「蘭鋳」と書かれている。

【文献】

- 1) 勝田正志:金魚の楽しみ方BOOK. 成美堂出版, pp.102(2009).
- 2) 吉田信行:新 観賞魚春秋. ㈱ピーシーズ, pp.29(2007).

問題17

【正 答】 ① コイ春ウイルス血症

【解 説】

農林水産省のインターネットホームページ「水産防疫の対象疫病について」に記載があり、選択肢にあげたコイヘルペスウイルス病、ピシリケッチア症、レッドマウス病はいずれも金魚はかからない疫病である。

第5回『大和郡山・金魚検定』【金魚】【初級】 解説

問題 18

「 【正 答】 ① ナニコレ珍百景

【解 説】

ナニコレ教育景のメンバーが昨年の大会を取材に訪れた。その際、実際に 団体戦に出 場した。

とうだっ こう ギグ へいせい 当日の様子は平成21年9月23日に朝日放送で放送された。

問題19

【正 答】 ② スリッパ

説】 【解

者は体育館シューズもしくはスポーツシューズを着用してプレーするものと する。」が追加された。

問題20

【正 答】 ④ ホイッスル

【解 説】

大会の規程では競技の開始について、「競技はスターターの合図により開始に し、…」とされている。審判長は、第1回大会以来、みんなに聞こえやすいホ イッスルを使って合図している。